

おあしす



特定医療法人 南山会

親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな
・アルプス訪問看護ステーション

2021

12

第35巻12号
(通巻412号)



アクが少なく柔らかいダイコンとして人気の高い北杜市明野町の浅尾ダイコン。寒風のハヶ岳おろしが通りやすく日当たりのよい場所に、やぐらを組んでダイコンが干されています。冬のハヶ岳から甲府盆地へ向かって吹き付ける北風「ハヶ岳おろし」、そして日照時間日本一と晴天率の高い北杜の日差しがしっかりと大根を芯まで乾燥させます。こうすることによって水分が抜け、腐りにくくなるので保存がきくようになります。また天日に干すと大根の酵素が活性化され、カルシウムや食物繊維、ビタミンBなどが増えて旨味が凝縮し、甘味が増します。干し大根、寒ざらし大根、寒干し大根、凍み大根など、昔から干すことで保存食として重宝されてきた大根。干すことで得られるメリットは、保存だけではありません。



峡西病院の理念

「その人らしさ100%」

峡西病院の方針

1
説明と納得の
医療

2
多職種の連携

3
「ここちよさ」の追求

4
社会参加の推進

アスピール病棟(A病棟)44床

アスピール病棟(A病棟)は楽山館の2階にある精神科急性期治療病棟です。

急性期病棟であるため、症状が急激に悪くなったり休息が必要な患者様を対象に、3か月以内と短期間の入院で治療を行っています。棟内は開放スペースと閉鎖スペースに分かれており、症状や状態に合わせて入院していただいています。

職員は看護師が15名、介護士が3名の計18名で、それに加えて病棟を担当する医師や精神保健福祉士、公認心理師、作業療法士、管理栄養士などのスタッフで構成されています。

A病棟ではクリニックパスに基づき治療を行っており、1〜2週間に一度パスミーティングにて多職種が集まって話し合いをしています。治療の方針などを確認しています。パスでは入院中の期間を1〜4期に分けて、それぞれの期間でしっかりと休めているか、食事は摂れているか、治療は進んでいるかなどを確認していきます。その中で担当の看護師を中心に患者様本人と関わりながらお互いに今の問題点や退院するための目標などを明確にしていき、退院に向けて協力していけるようサポートしていきます。

また、それと同時にクライシス

プランというものも行っています。クライシスプランでは自身の状態を良い状態から具合が悪い状態までを青・黄・赤信号の3段階に分けて、それぞれの状態で調子を崩さないために何をするか(例:規則正しく生活を送る、睡眠時間を十分とるなど)、調子を崩しそうなときにどうするか(例:休息をとる、気分転換をするなど)、調子を崩したときにどうするか(例:誰かに相談する、受診をするなど)を決めておき計画表を作成します。

あらかじめ作成しておくことで、退院したあともそれぞれの状況に合わせて対処法を患者様本人や家族などが把握でき、退院後も安定して生活が送れるように支援していきます。また、退院前には必要に応じてスタッフが同伴しながらの退院前訪問も行っています。

A病棟は急性期病棟であるため、入院期間は3か月以内と定められています。そのため他病棟に比べ患者様と関われる時間も限られますが、その中でも患者様がその人らしく安心して入院生活を送れるよう職員も手厚く支援していきます。最近調子が悪いなど思った方は少し休みたいなど思った方などは入院を検討していかげでしょうか。入院前に病棟の見学などもできますので是非ご相談ください。

ブリエ病棟(B病棟)60床

B病棟は、楽山館3階にある精神科療養病棟です。

比較的、長期間の入院が必要な患者さんの治療を行っており、病棟内は男女混合の閉鎖フロアになっています。

4床部屋のほかに個室(8床)、観察室(2床)もあり、様々な状態の患者さんに対応できるように工夫しています。

スタッフは20名で、看護師、准看護師、介護士、介護補助者の19名のほか、病棟担当の精神保健福祉士、作業療法士、公認心理師、管理栄養士で構成されています。

通常は急性期病棟にて、3ヶ月以内での退院を目指しますが、退院先の調整や継続治療が必要な患者さんがB病棟に移棟されてきます。主に、開放病棟での対応が難しい患者さんを受け入れています。

B病棟の特徴として、グループ活動というものがありません。患者さんは、担当看護師と同じグループに所属することとなり、グループは4つに分けられています。

現在のグループ名は、「ハッピーG」、「ドリームG」、「レインボーG」、「スマイルG」です。それぞれのグループで毎月1回、作業療法士や精神保健福祉士、公認心理師

を含めたグループメンバーで集まります。各グループでどんな活動をしたのか話し合い、その翌月には実際に決まった内容で活動に取り組みます。稲荷寿司や白玉団子などおやつを手作りしたり、出前を注文したり、また浴衣を着てお祭りやゲームを企画して楽しむといった様々な活動報告があります。

特に季節に合わせた催しや、普段なかなか出来ないことを一緒に取り組む機会として、楽しく活動しています。

各グループの毎月の活動日には、薬剤師や栄養士を含めた他職種でのカンファレンスも行っています。患者さんの病状や個性に応じた援助を検討する場となっており、今後の方向性を共有しています。

患者さんの情報共有を行い、それぞれの専門職がアプローチすることで、患者さんのニーズに沿って落ち着いた生活ができるように一緒に考えて支援していけるように努めています。



令和2年度 目標管理発表会



◇ 殊勲賞 ◇

石川 純子 (外来)
工藤和代子・塩澤千晶
(地域連携室)

活動内容

- ① 外来ケアプロセス会議の定義を作成
- ② 外来ケアプロセス会議を毎月定期開催実施
- ③ 会議の振り返り、打ち合わせを毎月行う
- ④ 病院機能評価更新

結果

- ① 初診時インタビュー担当部署当番表作成

目標
外来ケアプロセス会議を設置運営し、業務改善及び機能評価更新に寄与する。
受診したくなる病院を目指して

目的
① 多職種合同外来ケアプロセス会議を開催し患者利益のための業務改善・質の向上を目指す。
② 機能評価受診に備える

- ② 電子カルテ患者情報生活歴、家族図表記方法と西暦記載の統一
- ③ 入退院、移棟時連絡の統一
- ④ 掲示板の責任所在明確化
- ⑤ 診察時の録音、動画に対して病院方針を明確化
- ⑥ 長谷川式検査の請求基準統一
- ⑦ 電子カルテ上の連絡先の未記載あり来院時受付窓口で最新情報入力依頼

- ⑧ 外来との報告連携方法の周知
- ⑨ DCリワーク利用者を増やす工夫
- ⑩ 社会資源や関係機関最新情報の入力の周知
- ⑪ 個人情報取り扱いについて
- ⑫ 入院時病棟選択フローの検討
- ⑬ 問診票の見直し

まひる

- ▼ 外来ケアプロセス会議毎月実施
 - ・事例を通し機能評価に準じた評価を実施。

・症例を振り返る中で課題が明確になり、業務内容の改善、業務の質向上、課題を検討する場として活用。

◎ 外来部門としての協議の場がなかったが、外来ケアプロセス会議がその場になり着実な成果を上げることが出来た。

★うまくいったこと

開催ごとに多職種の多様な協議が行われ話題が展開された。
(構成メンバー)

- 外来G・地域連携室・医療相談室・心理G・DCG・作業療法G・医事G・企画G・看護部
- 1回平均参加人数17・3人

症例を決めることに時間を要すことが予測されたため、毎回事前に課題の打ち合わせを行った。

★うまくいったこと

- ・入院から退院までの流れや各部署の業務の意味が理解できた。
- ・疑問や悩みなどを相談しやすい場が作れた。
- ・難しい専門知識でなく分かりやすい言葉のやり取りで議論が展開できた。

★うまくいかなかったこと

- ・病棟や医局、経営会議に依頼しづらい。
- ・症例検討会になってしまいう場面もあった。

結論

- ▼ 参加スタッフが部署の垣根を超えて同じ目線、同じ方向性で問題解決に臨んでいる。
- ▼ きれいなことではなくどんな内容も投げかけることができ、受け入れてくれる関係性を築けている。
- ▼ 気楽な意見交換、情報交換の場でありながらも、きちんと結果が出る意味のある会議でもある。

◎ 業務改善、質向上、情報共有、情報交換、機能評価で高評価が得られました。

OT・PT だより

秋のイベント2021

10月23日に「秋のイベント」が開催されました。「秋イベントポスターのためのイラストコンテスト」「カボチャの重さ当てクイズ」「共同制作」「焼きそばやフランクフルト、お汁粉のサービス」「ヨーヨーつり」などの企画を行いました。



イラストコンテストは、秋の花やハロウィン、風景写真などを描いた力作を「応募いただきました。応募作品21作品の中で、皆さまに投票いただき、得票数の多い順に金賞・銀賞・銅賞を選ばせて頂きました。投票総数は130票でしたが、金賞の方でも16票の得票数で各賞1票差と言った僅差でした。どの作品もステキで投票する方も悩んでいました。かぼちゃの重さ当てクイズは、感染予防の為見本のカボチャと見比べて、見て当てる方式でした。正解は「42.5g」で正解者はいませんでしたが、各病棟・デイケアにニアピン賞が贈られました。共同制作では来場の皆様にお花を一つずつ飾っていただきました。多くの方が来場して下さい、用意してお花が足りなくなりました。会場スタッフが急いで作る姿もありました。秋イベントとしては初めて登場したのは「ヨーヨー釣り」でした。性別・年代を問わず、楽しんでいらっしゃる方が多かったです。釣ったヨーヨーを11月になってからもバックに入れて大切にしている方もいました。そして、多くの皆さまが希望したのは、焼きそば・フランクフルト・お汁粉の企画でした。皆さんが美味そうに食べている姿に、スタッフも笑顔になりました。参加者の皆様、運営に協力いただいたスタッフの方々ありがとうございました。



は、焼きそば・フランクフルト・お汁粉の企画でした。皆さんが美味そうに食べている姿に、スタッフも笑顔になりました。参加者の皆様、運営に協力いただいたスタッフの方々ありがとうございました。



プログラム紹介

デイケア行事

【活動内容】

年4回、デイケアのメンバーが一堂に会し、季節の行事を開催しています。11月9日には「デイケア運動会」を開催しました。当日は選手入場、聖火ランナーの登場と、オリンピッククサナガらの開会式から始まり、「大玉ころがし風ゲーム」「綱引き風ゲーム」「宝さがしゲーム」が実施されました。メンバー自ら会場の飾りつけをし、お互いに応援しながら場を盛り上げてくれたこともあり、笑顔の溢れる時間となりました。

デイケア行事は他にも、お花見やBBQ、クリスマス会など季節に合わせて内容を実施することが多いです。企画・準備・実行までをメンバー・スタッフで協同で行っています。



精神科

デイケアだより

Q & A

なぜ各グループに分かれて活動しているのでしょうか？

★フレンズは現在3つのグループに分かれて活動しています。生活充実型グループ、目標志向型グループ、復職準備型グループに分かれており、利用される方の目的に合ったグループが選択できるようになっています。各グループによってリハビリのメニューも異なるため、目的や目標に合ったリハビリを行いやすくなっています。

興味のある方、見学や利用をお考えの方は、スタッフまで気軽にご相談ください。☎055-282-2151

*ホームページがリニューアルされました。ぜひ、ご覧ください。

関西病院 リハビリのご案内 検索

ろうけんTimes

老健職種紹介 & 施設内研修

看護師紹介

峡西老人保健センターでは、現在10名の看護師が在籍しています。

看護の役割としては、利用者様の健康状態を把握し、医師の指示のもと利用者様へ日々の医療行為を行ない、適切な看護ケアの提供を行ないます。また、ご家族様との情報を共有し、多職種との連携を図ることによって人に寄り添い、その人に合ったケアを提供できるよう取り組んでいます。

老健は1階一般棟、2階認知専門棟、3階通所リハビリとなっております。各階それぞれ介護を必要とする高齢者の自立を支援し、家庭への復帰を目指すために医師による医学的管理のもと、利用者一人一人の状態や目標に合わせたケアサービスを提供しています。

在宅ケア支援の拠点となることを目指して、利用者様・ご家族様が快適に自分らしい日常生活を送れるよう、支援をしています。

研修会

令和3年10月14日、15日に排泄ケア検討委員会主催の研修会が開催された。内容については、委員会にて排泄ケアに関する実施を把握し、そこから抽出された課題と対策を検討事例として一般棟、認知症専門棟、デイケアの順で発表。排泄障害を持つ利用者様の要因は様々であり骨盤底筋群の脆弱、尿路感染、薬剤の関係性、認知症の症状、多飲水、便秘症、運動機能低下等があり、このような要因を確認し解決方法を考え、今後の排泄ケアに繋げる場となった。高齢になるにつれ要素は増加するが要因を改善すれば開設問題が解決し在宅生活に向け障害が問題とならないようになる。自立した日常生活を送るうえで排泄コントロールは不可欠なため、他職種で考えていき利用者様やご家族（介護者）が負担にならないような支援が必要である。

今日の活動記録

通所リハビリ



運動会シーズン! DCでも運動会しましたよ!! 玉入れ、棒リレー、パン取り競争などをしました!



秋刀魚の会



伊奈ヶ湖へ行きました! 天気も良くて景色最高でした!



ドライブへ行きました! コスモスや紅葉がキレイでした!



一般棟



行楽シーズン! 紅葉狩り(ドライブ)に行ってきました! 久々の外は気持ちよかったです。



ほうとうを作って食べました! 山梨といったらかぼちゃ入りですね。



先月掲載した富士山の貼り絵! 皆が1枚1枚、頑張って貼ってくれました。

認知症専門棟

* 峡西老健もホームページがリニューアルされました。

峡西老健 検索



峡西老健の理念

優 優しさ

友 友愛

結 人と人

本の紹介コーナー

今回は、B病棟 土屋真実さんにおすすめの本を聞きました！

本の題名：うまくいっている人の考え方 完全版

(作者：ジェリー・ミンチントン／出版社：ディスカバリー・トゥエンティワン／出版年月日：2018年3月31日)

●おすすめのポイントは？

人生がうまくいっている人の特徴は、「自尊感情」が高いことだと著者はいいます。

「自尊感情」とは何か。簡単に言うと、自分を大切にしようとする心のこと。自尊心のある人は常に自信に満ちあふれ、失敗や間違いを犯しても、それを前向きに捉えて次のステップの土台にする心の余裕があります。

なぜ、人は自尊心の欠如に苦しむのでしょうか。誰でも成長の過程で、自分が嫌になるような不快な経験をするでしょう。その経験が多いと、自分はみんなより劣っていて欠点だらけの人間だ、といった信念が心の中に出来上がるのです。

自尊心を取り戻すのは難しいことではありません。要は、自分に対する考え方を修正すればいいだけのこと。そのためには、自分の人生は自分で創造できると確信し、生まれつき持っている自分の価値に目を向ける必要があります。

この本では「100の考え方」が提示されています。項目ごとに簡潔にまとめられており、どこからでも読むことができます。毎日を充実させたい方に、ぜひ読んでもらいたいです。

「患者と医療者のパートナーシップ」指針

■基本方針

当院は最適な医療を提供すると同時に、患者様やご家族の医療や療養に対する希望・自己決定権を尊重して、患者・医療者のパートナーシップを大切にします。

■具体的対応と要望を反映するしくみ

- ・入院時診療計画を説明し、同意を得た上で文書を提供する。(医局・看護部)
- ・月ごとの総合診療計画実施書を説明し、同意を得た上で文書を提供する。(作業療法室)
- ・カンファレンスへの家族参加の呼びかけ。
- ・在宅に向けた医療スタッフの訪問と療養環境整備目的の相談を受ける。(訪問看護室)
- ・ソーシャル・スキル向上目的の訓練計画の立案へ、患者・家族の参加の呼びかけ。(臨床心理室・デイケア室)
- ・アンケート調査を通じて、要望事項の確認と対応の公開をする。(事務部)
- ・「ご意見箱」により病院管理者へ意見が届き、対応内容を院内に公開する。(接遇委員会)
- ・「家族教室」を定期的に開催し、必要な情報の提供と相談に応じる。(医療相談室)

■患者・医療者のパートナーシップを継続的検討

- ・指摘された問題や要望については、定期的な検討を行なっています。

私は冬になると、大して上手くはないですがスノーボードを嗜みます。スノーボードには色々な種目がございいますが、私はアルペンという競技用の板で嗜んでいます。アルペンと聞くと関門を抜けてタイムを競うスキー競技の方が有名ですが、そのスノーボードになります。ブーツはスキー兼用のプラスチック製の物を履き、板は前進あるのみの形状です。

アルペンボードは高速安定性とカーブの鋭さに優れています。雪面の状態が良ければ、腰や脇腹が雪に触れるほど倒し込める爽快な乗り物です。20年前と比べると道具の進化が目覚ましく、大抵の雪質で楽しく滑ることができリフレッシュ

私の趣味

には最適です。

社会人になってから始めましたが、それまでは寒い季節が苦手でした。ですが今では、梅雨明けの頃から冬が待ち遠しくなり、真夏でも階段や坂を見つけると怪しげな動きをしてイメトレ。電車はガラガラでも立って手放し乗車。桜の開花が怨めしく感じるほど冬が大好きです。冬が苦手な方がいらしたら、ゲレンデに出掛けてみてはいかがでしょう？ご家族でソリ遊びも一興です。きつと冬が楽しくなりますよ！

放射線グループ 山口 常明

万華鏡

先日、今年十月一日に二階建て新幹線が定期運行を終えるとのニュースを見た。大学在学中の帰省の度に自由席の切符を買い、二階から見える景色と一階から見える景色がどう違うのかと二階と一階を行ったり来たりしていたことを思い出した。その時から二十数年が経ったことに時が過ぎる早さ、なんとなく寂しさも感じ、同じ時間が過ぎると定年を迎える自分のことを想像していた。子供たちは成人になり、それぞれに家

庭をもっているかな・・・おじいちゃんになり孫の面倒をみているかな・・・できるなら旅行三昧の生活をしたいたいなど・・・今より自分の時間ができる。何もすることがないとい日横になって終わってしまいそう・・・どうしようか。何をして過ごそうか。手取り早く庭の剪定をすることにしました。というのも植木屋さんに頼むと高く、毎年手入れが必要となるから。自分で剪定することで節約にもなる。今は本から知識を得るだけでなく、インターネットで剪定の仕方を検索できる。動画サイトを見ると実際に剪定している様子を解説付きで見られることもできる。色々な方の剪定の仕方を動画で学び、ホームセンターで必要な道具をそろえ、いざ実践。皇月や名前も知らない木を剪定、ただ機械で高さや形を整えるだけな

ので難しくはない。次にもみじなどにも手を出してみた。実際に剪定をすると動画では簡単そうに見えるが実際は難しいことに気づく。思い切つて感覚で切つてみると見栄えが悪くなり、後悔・・・やっぱり専門職は違うと感じさせられた。専門職ということでは私も「精神保健福祉士」として勤務させて頂いている。専門職としての価値や理念を具体的に表せるようにこれからも精進しなければと気を引き締め直す。専門職は違うなと感じていただけのように・・・

因みに昨年は柿などの果樹の木を剪定して、今年は実がほとんどならなかった。自分の腕が上がる前に庭の木が枯れないといいが・・・

きつなグループ 和泉 和仁

こちら編集室

先日、書店で『山梨のトリセツ』（昭文社）という本を見かけ、思わず購入してしまいました。地図を読む解きながら、地形・地質、歴史、文化、産業などを紹介している本です。

南アルプス市内にはかつて、「ロタコ」という暗号名で呼ばれた旧日本陸軍の秘密飛行場があったのをご存知でしょうか？歴史を紐解きながら山梨を歩いていると、普段の景色が違って見えてきます。

そういえば、某女性歌手が『トリセツ』という歌を数年前にヒットさせて以来、「トリセツ」という言葉を冠した本が増えたような気がします。みなさんは、身近な人の「トリセツ」が本になっていたら、読みたいと思うでしょうか？私・・・いや、この話題は剣呑になりそうなので、このへんでやめておきます。

(な)

今月の予定 12月

14日 高齢者プロジェクト

28日 外来診療年内最終日

29日 デイケア年内最終日

※12月31日～1月3日 まで休業となります。

わが家のペット

Rs 病棟看護師須田さんの家のペットです。

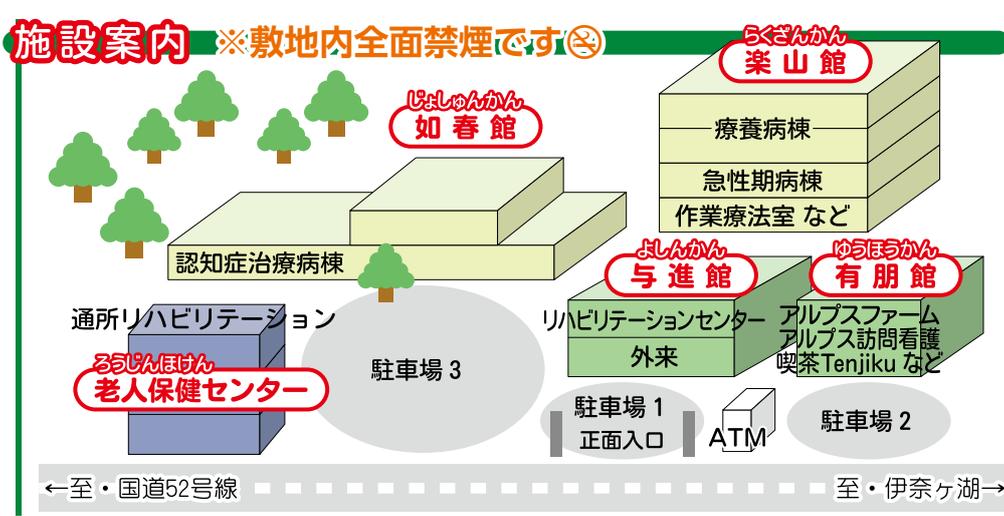



おあしす広場

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

山粧ふ湖囲むカメラマンと 今福 和人	柿成りしもぎ手によりしおやつ時 大森真知子	出し3時には笑み浮かびしは	何語るばあばの肩の落葉かな カナメ	大掃除気合いしかないおわりまで 恵風	もみじの葉掃き集めれば八袋 阪本みずほ	水瓶の底が居場所と寝る落葉 塚原 光明	クリスマスサンタクロースがやって来る 渡辺 あき	温もりが有るから生きていける 渡辺奈美子
-----------------------	--------------------------	---------------	----------------------	-----------------------	------------------------	------------------------	-----------------------------	-------------------------

※掲載は五十音順です。



- 交通案内**
- JR中央線
甲府駅より車で40分
 - JR身延線
東花輪駅より車で15分
 - 中央高速
甲府昭和ICより車で30分
 - 中部横断道
南アルプスICより車で5分
 - 山交バス
甲府-南アルプス市甲西支所行き (十五所経由) 鵜沢営業所行き (西野経由) 鵜沢営業所行き 小笠原下仲町バス停徒歩5分